

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: セミカルバジド塩酸塩

製品番号(SDS NO): D005010-1

供給者情報詳細

供給者: 国産化学株式会社

住所: 東京都中央区日本橋本町3丁目1番3号

担当部署: 品質保証部

電話番号: 045-328-1715

FAX: 045-328-1716

e-mail address: cs@kokusan-chem.co.jp

緊急連絡先: 国産化学株式会社 横浜事業所 神奈川県横浜市西区北幸2-8-29

## 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 3

生殖毒性: 区分 2

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2(骨)

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

飲み込むと有毒

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

注意書き

安全対策

使用前に取扱い説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。

貯蔵

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択：  
 化学物質  
 化学的特定名：セミカルバジド塩酸塩  
 慣用名、別名：塩酸セミカルバジド

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	化学式
セミカルバジド塩酸塩	-	563-41-7	1-215;2-1744	CH6CIN3O

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。  
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。  
 直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。  
 霧状水により容器を冷却する。

消火を行う者の保護

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。  
 回収が終わるまで十分な換気を行う。  
 適切な保護具を着用する。  
 着火源を取除くとともに換気を行う。

環境に対する注意事項

- 上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。
- 粉じんが飛散しないようにする。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
  - 掃き集めて、容器に回収する。
- 二次災害の防止策
  - 漏出物を回収すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

##### (取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

#### 局所排気、全体換気

排気/換気設備を設ける。

#### 注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

粉じんの堆積を防止する。

#### 安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

#### 配合禁忌等、安全な保管条件

##### 適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理指標

管理濃度データなし

### ばく露防止

#### 設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

#### 保護具

##### 呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

##### 手の保護具

保護手袋を着用する。

##### 眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

#### 衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

妊娠中/授乳期中は接触を避けること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：結晶または結晶性粉末

色：白色～淡黄色

臭い：知見なし

pH：知見なし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点：知見なし

融点/凝固点：知見なし

分解温度：175 ～ 185°C

引火点：知見なし

比重/密度：知見なし

溶解度

水に対する溶解度：自由に溶ける。

溶媒に対する溶解度：温アルコールに微溶、エーテルに不溶。

n-オクタノール/水分配係数：知見なし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

避けるべき条件

火源、熱、混触危険物質との接触。

混触危険物質

塩基

危険有害な分解生成物

窒素酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

マウスのLD50値 225 mg/kg(HSDB(2005))に基づき、区分3とした。

局所効果データなし

感作性データなし

生殖細胞変異原性

[日本公表根拠データ]

マウスに経口投与後の骨髄またはマウスに腹腔内投与後の末梢血をそれぞれ用いた小核試験(体細胞in vivo 変異原性試験)でいずれも陰性(動物医薬品評価書(2007)、Toxicology Letters(2005))、トランスジェニックマウスに28日間経口投与による肝臓および肺を用いた遺伝子突然変異試験(体細胞in vivo 変異原性試験)で陰性(動物医薬品評価書(2007))の結果に基づき、区分外とした。なお、ラットに経口投与による肝細胞を用いたUDS試験で陰性(動物医薬品評価書(2007))、in vitroの試験としては、Ames 試験では特定の細菌株(TA1535, TA100)に対し陽性(動物医薬品評価書(2007))、チャイニーズハムスター卵巣(CHO)細胞を用いた染色体異常試験で陰性(動物医薬品評価書(2007))、マウスリンパ腫TK試験で陽性(動物医薬品評価書(2007)、HSDB(2005))の報告がある。

発がん性

[日本公表根拠データ]

IARCの発がん性評価でグループ3に分類されている(IARC supplement 7(1987))ことから「分類できない」とした。なお、マウスに7か月間混餌投与により、肺腫瘍の発生増加、また、マウスに生涯にわ

たり飲水投与した試験では、雌で肺腫瘍、雌雄で血管腫、血管肉腫を含む血管由来の腫瘍の発生増加がそれぞれ報告されている(IARC 12(1976))が、ラットでは78週間混餌投与(高用量群では死亡発生のため投与は32週まで)後26週間無投与で経過後の検査で、長骨の骨粗鬆が認められたものの腫瘍を誘発する証拠は得られなかった(The EFSA Journal(2005))としている。

IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

#### 生殖毒性

[日本公表根拠データ]

妊娠中のラットに経口投与により、仔における小顎症および口蓋裂を含む顔面異常の発生(IARC 12(1976))、ラットの妊娠10-16日の投与では吸収胚及び口蓋裂の高率の発生(IARC 12(1976))、ラットの妊娠5, 7, 10, 13, 15日に腹腔内投与では妊娠21日目に胎仔の脳、腎臓、腸、肝臓における異常(HSDB(2005))、ラットの妊娠中の発生段階での腹腔内投与により高率の水腎症の発生、および妊娠期間中の投与により着床数、生存仔数の有意な減少(HSDB(2005))がそれぞれ報告されている。以上の結果はラットで本物質が催奇形性を有することを示すが、これらの用量においては親動物の一般毒性に関する記述がないので区分2とした。

催奇形性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

ラットの90日間の混餌投与試験において、ガイドンス値範囲区分2に相当する500 ppm(40.7~44.2 mg/kg/day)以上で胸郭および尾の変形とともに、膝関節の肥大と変形が見られ、かつ、病理組織学的には全用量(18.1~70.5 mg/kg/day)で骨端および関節の軟骨で軟骨細胞の配列不整、軟骨基質の亀裂が明白であり、高用量における結合組織の増加と骨変形を伴い、用量に依存して病変の程度が増強したとの所見(Food and Chemical Toxicology 47(2009))に基づき、区分2(骨)とした。なお、若齢ラットに28日間経口投与した試験でも全用量(40~140 mg/kg/day)で軟骨石灰化不足が観察されている(Food and Chemical Toxicology 47(2009))。

吸引性呼吸器有害性データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性データなし

残留性・分解性データなし

生体蓄積性データなし

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

## 13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行なって危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する事。

## 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 2811

品名(国連輸送名) :

その他の毒物、固体、有機物、N.O.S.  
国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 6.1  
容器等級 : III  
指針番号 : 154  
特別規定番号 : 223; 274; A3; A5

#### 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

第5類 自己反応性物質 危険等級 II(指定数量 100kg)

化審法に該当しない。

船舶安全法

毒物類 毒物 分類6 区分6.1

航空法

毒物類 毒物 分類6 区分6.1

適用法規情報

道路法:車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)

輸出貿易管理令別表第1の16の項に該当。

#### 16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012) 2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2017 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2016 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。